

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第5部門第2区分  
 【発行日】令和4年5月26日(2022.5.26)

【公開番号】特開2021-8935(P2021-8935A)  
 【公開日】令和3年1月28日(2021.1.28)  
 【年通号数】公開・登録公報2021-004  
 【出願番号】特願2019-123731(P2019-123731)  
 【国際特許分類】

F 1 6 H 9/12(2006.01)

F 1 6 H 55/52(2006.01)

F 1 6 B 7/18(2006.01)

10

【F I】

F 1 6 H 9/12 A

F 1 6 H 55/52

F 1 6 B 7/18 A

【手続補正書】

【提出日】令和4年5月17日(2022.5.17)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

【図1】プーリ装置の側面断面図。

【図2】固定ボスの側面断面図。

【図3】固定ボスの背面図。

【図4】固定ボスの側面図。

【図5】スプリングシートの平面図。

30

【図6】図5のX-X線断面図。

【図7】カム機構を示す概略図。

【図8】ドライブプレートの背面図。

【図9】締結部材によってドライブプレートが取り付けられた固定ボスの側面断面図。

【図10】締結部材の斜視図。

【図11】締結部材の背面図。

【図12】固定ボスに取り付けられた状態の締結部材の背面図。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0052

40

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0052】

図1に示すように、各クラッチシュー102は、円周方向の一端部がドライブプレート101に揺動可能に取り付けられている。各クラッチシュー102は、その外周面に摩擦材を有している。各クラッチシュー102の他端部には、各クラッチシュー102を径方向の内側に付勢するようにリターンスプリングが取り付けられている。

50